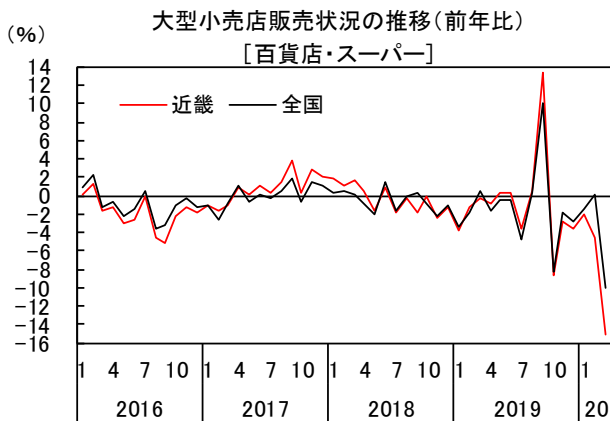
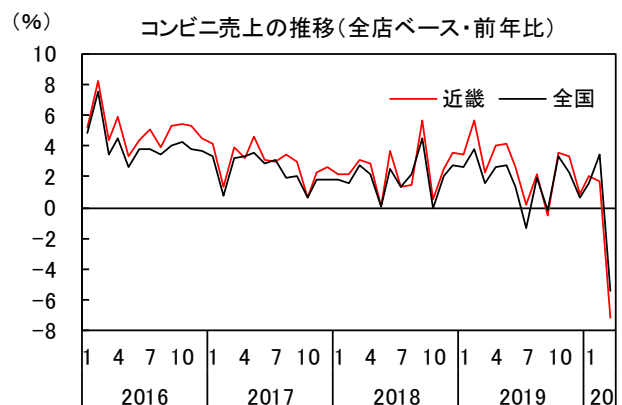


関西の景気トピックス【消費関連（20年03月）】

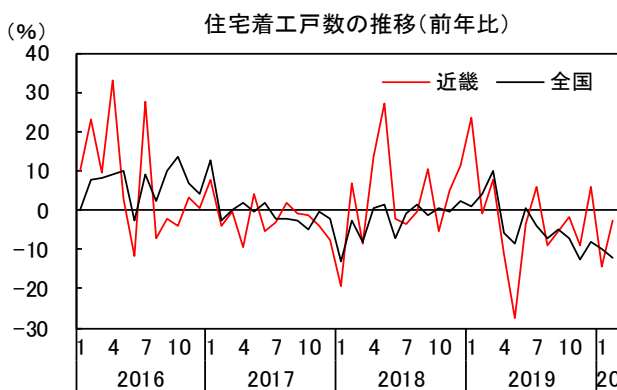
- 20年3月の大型小売店販売状況（経済産業省）は前年比マイナス15.1%と6か月連続の減少となっている。新型コロナウイルスの影響によるインバウンドの減少や外出の自粛で、百貨店の売上が急減した（業態別には、百貨店が35.9%減、スーパーが1.1%増）。
- コンビニ売上（経済産業省）の3月は、全店ベースで前年比マイナス7.2%と、6か月ぶりに減少した。外出の自粛により、都市部を中心に往来が減少したことで、売上が大きく減少している。
- 住宅着工戸数の（国土交通省）2月は、前年比マイナス2.9%と2か月連続の減少となった。今月は持家、貸家がともに2けた減少となっている。
- 毎月勤労統計調査（厚生労働省）でみた賃金動向については、大阪は直近で前年を下回る動きが続いている。新型コロナウイルスの影響に加え、所得環境も良くないことから、今後も個人消費は停滞が続くことが懸念される。



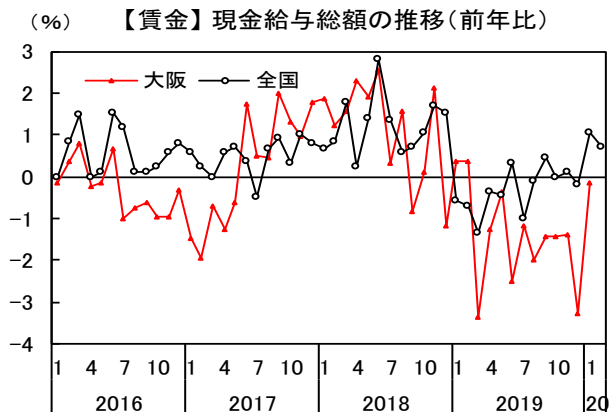
(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省



(出所)国土交通省「建築着工統計」



(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」